

平成 25 年度青森市水道事業会計予算

青森市の水道は、明治 42 年に、本市を一望する八甲田連峰のすそ野に建設された横内浄水場から、給水人口 50,000 人、1 日当たりの配水能力 4,150m³ で通水を開始しました。

その後のめざましい市勢の発展に合わせ、水道施設も拡張を重ね、現在では、給水人口約 297,000 人、1 日当たりの配水能力約 178,000m³ (H24. 3. 31 現在) となっています。

今後におきましても、引き続き、安全・安心な水を安定的に供給することに努めます。

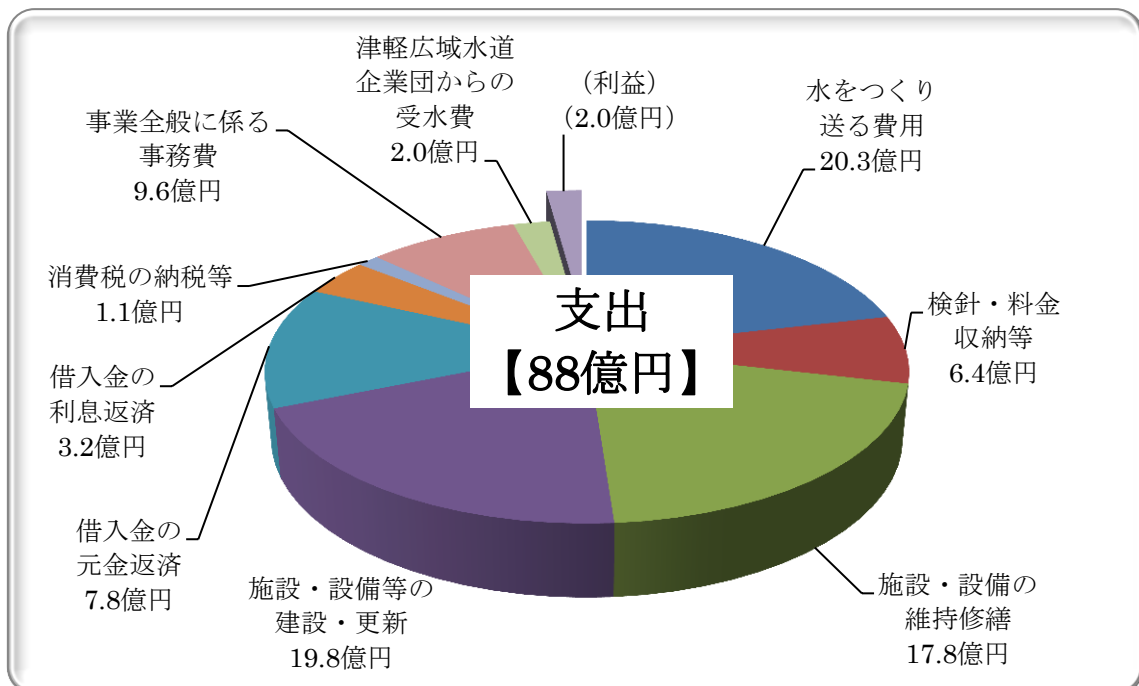
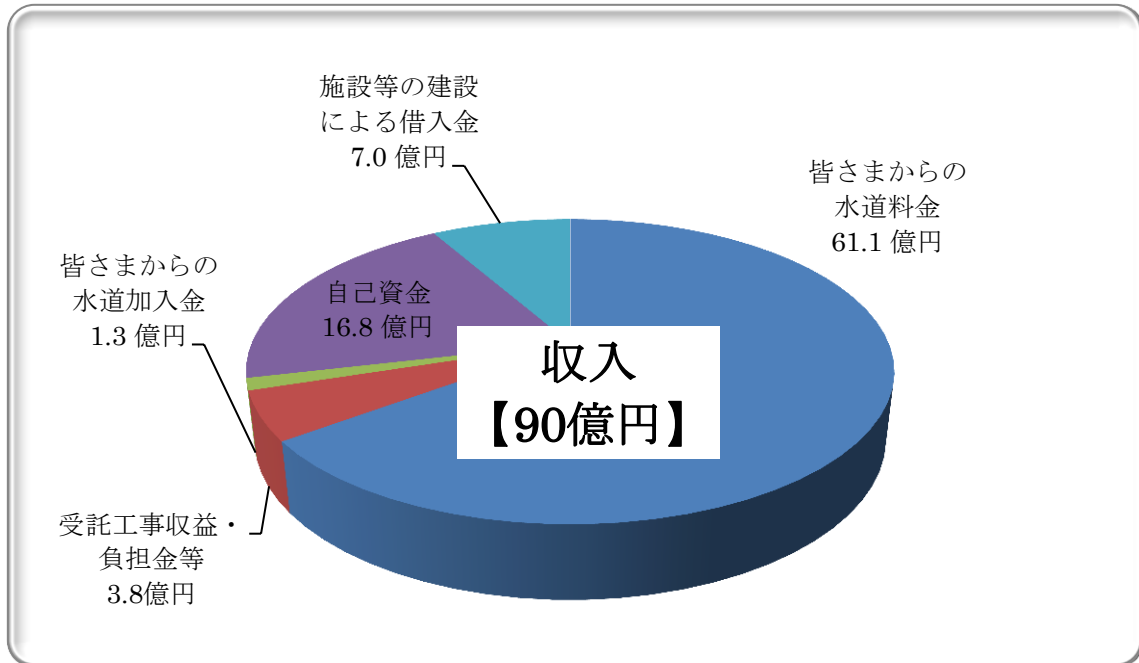
平成 25 年度予算編成方針

常に安全・安心なおいしい水を安定的に供給するため、

- ◎安定した給水の確保
- ◎良質でおいしい水の供給
- ◎災害に強い水道の構築
- ◎経営基盤の強化
- ◎環境への配慮

を基本に、緊急性や重要性の高い事務事業の厳選に努め、水道水源から各家庭の蛇口に至るまで必要な施策を重点的に行なうこととしています。

平成 25 年度予算内訳



主な事業

I 安定した給水の確保

① 水対策事業

有収率向上対策として、市全域の漏水調査を実施し毎年度約 300 ヶ所の漏水を解消してきた結果、平成 24 年度の有収率が約 90%になっております。

- ・H25 戸別音聴調査 125,350 戸（全域）
路面音聴調査 514 km他

② 水源涵養保安林等整備事業

いつまでも安全で、良質なおいしい水を安定的に供給するため、市民の皆さまのご協力のもと「水と森を守る運動」として、平成 4 年度から 21 年度までに、横内浄水場水源保護区域に 174,000 本のブナ等の広葉樹を植林しました。

また、平成 22 年度からは、植林場所を天田内地区に移して、地下水取水井周辺を緑豊かな自然環境として保全するための水源環境保全林整備を 4 ヶ年計画で実施することとし、4 年目である 25 年度は 600 本を植林します。

③ 原別配水所発電機自動始動盤更新事業

原別配水所の発電機自動始動盤は経年劣化により更新時期を迎えているため、更新します。

④ 油川配水所直流電源装置及び無停電電源装置更新事業

油川配水所の直流電源装置及び無停電電源装置は経年劣化により更新時期を迎えているため、装置を更新します。

II 良質でおいしい水の供給

① 仕切弁（バルブ）取替事業

バルブの錆による水質の変化を未然に防ぐため、弁体をゴムで覆った錆びない材質のソフトシール弁へ計画的に交換しています。

- ・H25 49 個の交換

② 水源涵養保安林巡視事業

水源保護区域の汚染防止の強化のため、巡視員によるゴミ不法投棄の通報や立入者への汚染防止啓発等を行います。（横内川水源地、防名沢、堤川水源地）

Ⅲ 災害に強い水道の構築

① 配水管整備事業

管の老朽化による漏水の防止や災害対策として、耐震管の布設などを実施します。

- ・H25 10,060mを布設

② 浅虫系送水管耐震化事業

浅虫地区の送水管の耐震化を実施します。

- ・H25 665mを布設

③ 横内浄水場管理棟耐震化事業

平成 22 年度に行った横内浄水場管理棟の耐震診断の結果、耐震化が必要となったため、耐震化工事を実施します。

Ⅳ 経営基盤の強化

① 広報活動事業

市民の皆さまの水道事業に対する理解を深めていただくため、当部が実施している事業、安全・安心な水づくりのための態勢や要するコストなどについて情報発信します。

- ・H25 「あおもり水道だより」発行
「あおもりウォーターフェア」の開催

Ⅴ 環境への配慮

① 省エネルギー化の推進対策

平成 23 年度に策定した「青森市水道経営プラン」において、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づく特定事業者として事業活動の効率的運用に努め、対前年比 1 % のエネルギー削減を目標としているところですが、平成 25 年度は、天田内取水井 17 号、20 号及び油川取水井 6 号の取水ポンプを高効率電動機に更新します。

② PCB 廃棄物対策

PCB 特別措置法によって処分が義務付けられている PCB 廃棄物の処分経費を措置します。